



豊玉二中だより

令和元年度 第9号
発行日 1月15日(水)
練馬区立豊玉第二中学校
校長 神山 信次郎

新年を迎えて

校長 神山 信次郎

新年明けましておめでとうございます。昨年は猛暑、台風19号による豪雨災害と改めて自然の恐ろしさを見せつけられました。未だに不自由な生活を送っている方々があります。また、世界に目を向けるとさらに大きな問題があります。それは、地球上のどこかでは戦争や紛争など争いが絶えない地域が今もなお残されていることです。そこでは、学校へ行くこともできない子ども達が多くいます。それどころか、食べるものもなく生きることすらできない現状があります。同じ子どもでもでありながら大きな違いに心が痛みます。



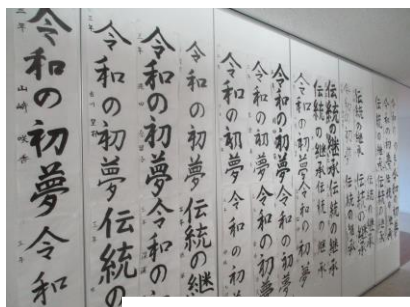
さて、令和2年はどのような年になるのでしょうか。私たちは、幸いにも厳しい生活を強いられているわけではありません。むしろ、豊かな社会の中で不自由なく生活していると言えます。

この生活を「当たり前」と感じてしまいがちですが、実は長年にわたり多くの人々の努力の成果であることを忘れてはならないと思います。このことを私たちはつい忘れてしまい、不平や不満を口にします。皆さんはどうでしょうか？もちろん現在の状況に甘えてしまい、何もしなかったり、今のままでよいと考えたりしてはいませんか。私は、まず、今の生活に感謝することから今年1年をスタートしたいと思います。

新しい年には、誰もが新鮮な気持ちで家内安全や家族の健康を願い、その上で「今年は何々頑張るぞ」などの誓いを立てているのではないのでしょうか。「〇〇頑張るぞ」の中には昨年十分な取り組みができなかったり、結果を出すことができなかったりした内容が多く含まれると思います。ぜひ、昨年の反省を踏まえ、長期的な目標・夢をもって、そして身近なところで現実可能な目標を立てて、充実した1年にしてほしいと思います。

今年は何支の始まりの子年です。また、2020年と心新たに出発するにはこの上ない年です。

新年を迎え、今年も生徒の皆さんが元気な笑顔と一所懸命頑張る姿を見せてくれることを期待します。どんな困難でも乗り越える勇気を皆さんは確実にもっています。自分の力を信じて自らの将来を切り拓いてください。



校内書き初め展 3学年(左)・1学年(中)・2学年(右)